

かなざわ子育て夢プラン 2020（仮称）骨子案について  
パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

資料 1-1

募集期間：令和元年 12 月 3 日（火）～令和 2 年 1 月 6 日（月）

意見数：14 件（意見者 4 人）

提出方法：電子メール（4 人）

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
<b>次期かなざわ子育て夢プランについて</b>		
1	行政が具体的に実施する計画であるので、機運、意識醸成よりは制度設計及び適切な人員、予算の投入が重要であると考えます。	本市では保育所や児童クラブの増設、児童相談所の開設、かなざわ子育てすまいるクーポンや産前・産後ママヘルパーのようなサービスの創設など、子ども・子育て支援施策の充実に取り組んできました。 今後も少子化対策や子育て支援に関する施策の実施に積極的に取り組んでまいります。
<b>基本方針 1 人と人が“つながる”まちへ</b>		
<b>地域の子育て支援機能の整備・充実について</b>		
2	未就園児を持つ親にとって 1 日中家で過ごすことがストレスにつながる場合があります。福祉健康センター、こども広場、夢ステーションなど利用できる場があることは、育児負担の軽減につながっている。しかし、これらの場を知らなかったり、行ったことがないので不安で利用していない方も多くいるので、健診の際に施設体験（見学）を盛り込むなど、実際の利用につなげる工夫が必要ではないか。	福祉健康センター併設のこども広場については、乳幼児健診や育児教室において、親子の状況に応じて個別に見学の案内をしているほか、その他のこども広場や夢ステーションなどについても子育てお役立ちブック等で情報提供しています。 今後とも、より効果的な情報提供に努めてまいります。

## 基本方針2 子どもを健やかに“はぐくむ”まちへ

### 保育施設の整備について

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 3 | <p>第一希望の保育所に入ることが難しいとの声を聞く。第一子と第二子を別の保育所に送迎するケースもあり、職場復帰の際の大きな負担となっている。</p> <p>職場復帰のタイミングの1歳児の母たちから、保育所に事前に問合せした結果、「入所は難しい」と言われたとの声を聞くことがあり、仕事と子育ての両立に不安が増しているように感じる。</p> <p>今後も市内の住宅整備に伴い、子育て世代の集中する地区は変化し、ハード面や人材確保の点で大変難しいと思うが、保育所の定員拡大について対応できる体制づくりを希望する。</p> | <p>現在、保育士の配置や居室等の最低基準等を満たすことを条件に、定員を超えた利用を可能とするなど、地域の実情に応じた円滑な入所を進めているところです。</p> <p>今後、既存施設の建て替え時にあわせて、利用ニーズの大きい3歳未満児の定員拡大を図っていきます。</p> <p>なお、兄弟姉妹の利用については、できる限り同一施設での利用となるよう、利用調整の際に加点を行うなどにより配慮しています。</p> |
|---|--|---|

### 一時預かりの体制について

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 4 | <p>1日から数日程度泊まりがけで仕事に来る人の子どもを預かれる仕組みを作っておくことが金沢のまちの発展に望ましいのではないかと。</p> <p>現在、近江町交流プラザと金沢21世紀美術館で市外の子どもも預けることができるが、受付が10時以降であり利用が難しい。</p> <p>市外の人でも市内に仕事や学業で一時的に来る人の子どもを一時預かりできるように制度を調整していただけるとありがたい。</p> | <p>本市の一時預かり施設は施設本体の開館時間を基本に利用時間を設定していることをご理解願います。ご意見については、今後の施策の参考にさせていただきます。</p> |
|---|--|---|

### 緊急時の一時的な子育て支援について

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 5 | <p>未就園児の託児について市ホームページに一時預かり拠点施設の掲載があるが、実際に託児をお願いしたいときに定員オーバーで5、6の園から断られたことがある。体制は整っているように見えて、実際に機能しているのか見えにくいと感じた。</p> | <p>保育所や認定こども園の一時預かり拠点施設では、保育需要の高まりや保育士不足から、時期によっては、利用が難しいことがあります。その場合は、ファミリーサポートセンターの利用や、拠点施設の他に市内4か所の一時預かり施設（おひさまる一む、ほんわかる一む、近江町交流プラザちびっこ広場、金沢21世紀美術館託児室）を案内しています。</p> |
|---|--|---|

病児保育について		
6	<p>病院等の病児保育の整備は進んでいるように感じるが、各保育所での病児保育が可能になれば親の負担は大きく軽減できるのではないか。</p>	<p>利用中の保育所等で、突発的な体調不良に対応する体調不良児型対応型の病児保育については、現在5カ所の保育所、認定こども園で実施しています。引き続き、病児保育の充実について検討していきます。</p>
予防接種について		
7	<p>先天性風疹症候群予防のための大人の風疹予防接種の推進が必要である。</p>	<p>本市では、国の風しん対策が始まる前の2018年4月から風しんの抗体価が低い方を対象として、予防接種費用の一部を助成する制度を設けているところです。</p> <p>この制度は、3年間の時限的措置としていますが、今後、国の動向等を踏まえて、適切に対応してまいります。</p>
8	<p>子宮頸がんの原因となるHPVのワクチン接種について勉強会を開くなど推進する方向で検討を進めるべきである。</p>	<p>国の動向を注視しつつ、今後の対応を検討していきます。</p>
9	<p>定期接種ではないインフルエンザワクチンについても社会的メリットに鑑み、市で少なくとも子ども、市立小中学校の教員、市民と接する市役所職員には接種できる体制を作られるとよい。</p>	<p>本市では、風しん発生時に最前線で対応する保健所職員等に対して、予防接種を実施する体制を整えています。</p> <p>また、インフルエンザワクチンの接種については、0歳～6歳の乳幼児に対する助成事業を行っているほか、市立小中学校の教員や市の職員については、加入している共済組合（健康保険）が接種費用の助成を行っているところです。ご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
すくすく母乳育児支援事業について		
10	<p>一般に母乳を推奨することは良いとされるが、無理をするほどではなく、母乳に過剰に重きを置かないように施策において注意すべきである。</p>	<p>本事業は母乳育児に悩んでいる方を対象としていますが、母乳を過剰に推奨するものではありません。今後も産婦さん本人の希望や思いを大切に不安の解消につながるような支援をしてまいります。</p>

## 基本方針4 未来の希望を“つくる”まちへ

### 子育てと仕事の両立について

11	子どもを産むには自然的な要因による定年がある。人生100年時代への流れの中で、時期をずらせない自然的定年要因を重視し、時期の移動ができる社会的定年要因（働く上での定年）を廃止し、子どもだけではなく、親も幸せを目指す必要がある。「子どもの幸せを第一とする」のではなく「親と子どもの幸せを両立する」がDVや児童虐待を防止する本源的対策になるのではないか。	本計画では、大人による効率や利便性の追求にとらわれることなく、すべての子どもが夢と希望を持って成長できる社会をつくるのが大切であると考え、「子どもの幸せを第一とする」を留意する視点として掲げました。「親と子どもの幸せの両立」についても大切であり、実現に向け取り組んでまいります。
----	---	---

### 父親の育児参加について

12	父親の育児参加、育児休業等の取得はやや増加しているが、まだまだ追いついておらず、仕事と子育てを両立する母親の負担が大きいと感じる。 子育ての喜びを共有できる社会には、父親の育児参加は不可欠であり、市から企業等への継続的な啓発、取り組み支援をお願いする。	本計画では、父親の育児参加に対する意識改革や、夫婦で子育てと仕事を両立していく意識の醸成を基本施策に掲げ、取り組みを進めていくこととしています。また、企業が仕事と家庭の両立支援に取り組むことができるよう、多様な働き方の導入や理解の醸成を図り、働きやすい職場づくりに向けた企業の自主的な取り組みを推奨していきます。
13	男性の子育て意識の改善が弱い。子どもは親あっての子どもなので、地域コミュニティのつながりや親同士のネットワーク醸成以前に、家庭における父親の意識改革をもう少し強く推進してもよいのではないか。	

## 基本方針5 役立つモノ・コトを“つたえる”まちへ

### 金沢子育てお役立ちウェブについて

14	ウェブのドメインが金沢市 (city.kanazawa.lg.jp) の配下になっていないのは好ましくないのではないか。	金沢子育てお役立ちウェブは、市が子育て当事者の市民団体に運営を委託しているもので、当事者の目線で情報発信していることが特徴となっています。なお、掲載内容については市が監修しております。
----	--	--

(注) ご意見については、一部要約して記載しております。